

平成31年度社会福祉法人雄心会事業計画書

I はじめに

少子高齢化が急速に進展し、2025年には、わが国の人口構成は4人に1人が後期高齢者になるといわれ、介護を必要とする高齢者の大幅な増加が見込まれている。特に、道南地域にあっては全道平均に比して10年ほど高齢化が早期に進行するといわれており、労働力人口の減少や年齢構成の変化による、将来の経済規模の縮小や生活水準の低下を通じて、地域の持続可能性を危うくするという不安・悲観へとつながっている。また、高齢化の進行が深刻化する地域にあって、障害者が自ら望む地域生活を営むことができるよう「生活」や「就労」に対する一層の充実を支援することが求められているが、地域においては、ニーズの多様化にきめ細かく対応し、「生活」と「就労」の両者をつなぐ支援体制が十分とはいえない状況にある。

こうした中、地域で高齢者、障害者の生活を支える福祉・介護人材の確保は大変きびしい深刻な情勢にあり、福祉・介護を展開する事業所にとって人材の確保と育成も喫緊の課題となっている。

これら地域課題の解決に向け社会福祉法人の果たすべき役割や地域住民の期待は大きなものとなっており、当法人として経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上や地域における公益的な事業の実施などに取り組みなければならないと考えている。

当法人は、これらの課題や地域社会の期待に対して、今年度オープンする複合型施設いなほで展開する新規事業と介護老人保健施設いなほを核とする既存事業を連携・連動させながら、法人役職員が一丸となって最大限の力を発揮し、法人理念・実践要綱の確実な実践を進め、これら地域ニーズ・課題解決に取り組むものである。

II 法人理念・実践要綱

1 理念

安心できる環境で良質かつ専門的な福祉サービスを提供する。

2 実践要綱

(1) 良質な福祉サービス

- ①利用者・御家族の尊厳を尊重し、生きがいのある自立した生活を実現できるよう支援する。
- ②専門的な知識と技術を研鑽し、常に地域福祉の先端を目指す。
- ③教育、研究分野に対する積極的な姿勢を持ち、福祉サービスの向上を図る。

(2) 社会貢献

- ①地域の住民、行政、関係機関と関係を図り、地域の福祉ニーズに積極的に対応する。
- ②地域の皆さんと分け隔てなく支え合う、幅広い福祉サービスを提供する。

(3) 利用者の満足

- ①思考と行動を利用者中心とし、利用者、家族から信頼される福祉サービスを目指す。
- ②相手を尊重し、暖かみのある対応を心がけ、心が通い合う福祉サービスを提供する。

(4) 職員幸福

- ①職員全員が福祉の心を持ち、自己を高めることができる人材を育成する。
- ②職員その家族の幸せを考えられる職場作りに努める。

III 計画内容

1 重点取組項目

- (1) 介護老人保健施設いなほにおける各実施事業の充実
- (2) 複合型施設いなほにおける各実施事業の安定化の推進と充実
- (3) 養護老人ホームひのきの改築整備の促進と新規取組事業の準備
- (4) 各拠点区分事業の連携促進によるサービス提供体制の強化
- (5) 人材確保対策の検討及び推進
- (6) 法人経営組織のガバナンスの強化

2 推進方策

- (1) 介護老人保健施設いなほにおける各実施事業の充実

【社会福祉事業】

地域における社会福祉事業の主要な担い手である社会福祉法人として、次の事業を確実、効果的に実施するとともに、提供する福祉サービスの質の向上及び地域からより一層信頼される事業運営に努める。

①無料低額老人保健施設事業

ア 総延利用者に対し10%以上を維持

第2種社会福祉事業として実施するにあたり、生活保護を受けている方、費用の減免を受けている方の延べ数が入所者総延べ数の10%以上であることが必要なため、対象となる利用者の確保に努める。

イ 低所得増の地域住民やその家族や地域住民に対する相談支援を実施する。

ウ 生活保護受給者へ福祉事務所と連携した支援。

エ 福祉事務所、居宅支援事業所等と連携した生活困窮者への支援に取り組む。

②医療型短期入所（障害福祉サービス）

ア 重症心身障害者等をケアしているご家族からの相談に応じる。

イ 重症心身障害者等をケアしているご家族へのレスパイトケアを提供し、在宅生活の継続を支援する。

【公益事業】

社会福祉法人が行う公益事業として、介護老人保健施設などその経営基盤の強化を図るとともに、地域の介護、福祉ニーズにできる限り応えた社会福祉事業特に複合型施設における事業と関連（連続）性を持たせた運営を行う。

さらには、要介護・要支援高齢者の在宅生活の継続を可能とする、次の事業の効果的な運営に努める。

①介護老人保健施設事業

ア 目標稼働率

| |
|-------|
| 96.8% |
|-------|

（平均1日利用者数93名）

より多くの高齢者を支援し、在宅復帰を促進することで、利用者を安定的に確保し、経営基盤の強化を図る。特に複合型施設いなほにおいて実施している事業との連携強化に努める。

イ 残存能力の維持向上を目指し、在宅復帰に向けた機能訓練の実施する。

②短期入所療養介護事業（介護予防サービス含む。）

ア 目標稼働率

| |
|------|
| 1.2% |
|------|

（平均1日利用者数1名）

できる限り地域のニーズに応えることで、空床を効果的に活用し、併せて経営基盤の安定化を図る。

イ ショートステイほあかりとの連携強化によるそれぞれの事業の特徴を生かした支援の充実と利用促進を図る。

ウ 短期集中的な機能訓練の実施及び評価による在宅生活におけるADL・IADLの向上を図る。

エ 同居家族へのレスパイトケアの提供し、在宅生活の継続を可能とする支援を行う。

③通所リハビリテーション事業（介護予防サービス含む。）

ア 目標稼働率

| |
|-------|
| 77.8% |
|-------|

（平均1日利用者数35名）

できる限り地域からの利用要望に応え、利用者にとって魅力ある事業展開に努めることで、利用者の安定的な確保を図るとともに経営基盤を強化する。

イ 継続的な機能訓練の実施及び評価により、在宅生活が可能な限り維持できるよう支援の充実を図る。

(2) 複合型施設いなほにおける各実施事業の安定化の推進と充実新規事業の推進

【社会福祉事業】

各事業における1年間の実績を検証し、「社会貢献」、「利用者の満足」の実現のため事業の地域への定着を図るとともに、地域における多様なニーズに応えることができるよう、各事業の運営の充実に取り組む。

複合型施設として、各実施事業、さらには他の拠点区分実施事業との連携の促進を図り、地域の多様なニーズに応える福祉・生活支援サービスの提供に取り組むこととする。

①地域密着型特別養護老人ホームほあかり事業

ア 目標稼働率

| | |
|-------|---------------|
| 90.0% | (平均1日利用者数26名) |
|-------|---------------|

入退所の手続きを速やかに行うなどし、地域からの入所要望に積極的に応える。

また、入院期間が長期(概ね1ヶ月以上)になる場合は短期入所者としての受け入れに取り組み、空床期間の短縮に努める。

イ 1年間の運営状況を検証し、良質なサービスの提供と利用者及びその家族の満足度の向上に努める。

②ショートステイほあかり(短期入所生活介護)

ア 目標受入者数

| |
|----------|
| 1日平均2.5名 |
|----------|

入院期間が長期(概ね1ヶ月以上)になる場合は、介護老人保健施設いなほ、居宅介護支援事業所等と連携し、空床利用型の短期入所者としての受け入れを進める。

イ 同居家族へのレスパイトケアの提供による在宅生活の継続を可能とする支援機能の充実に努める。

③デイサービスセンターいちほ(通所介護、総合事業)

| ア 目標利用者数 | 事業 | 平成31年度当初 | 平成31年度末 |
|----------|------|----------|---------|
| | 通所介護 | 1日 19名 | 1日 26名 |
| | 総合事業 | 1日 8名 | 1日 13名 |

イ 利用者の満足度を高めるサービス及びプログラムの充実を図る。

ウ 北斗市等の総合事業への取り組みと地域への事業理解の促進により利用者を確保する。

③多機能型自立訓練センターいちほ

| | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| ア 目標利用者数 | | 平成31年度当初 | 平成31年度末 |
| | 1日平均利用者数 | 8名 | 16名 |

- イ 利用者のニーズに応じたサービス提供体制の充実を図る。
- ウ 地域への事業理解の促進と利用者の確保を図る。

④ 複合型施設としての取り組み事項

- ア 複合型施設で実施する事業と介護老人保健施設実施事業との連携を促進する。
- イ 複合型施設いなほにおける実施事業、サービス提供の地域への周知の促進を図る。
- ウ 地熱井を利用した省エネルギー施設の市民開放事業に取り組む。
- エ 地域ニーズや地域課題の調査、把握し、北斗市などの行政機関（福祉事務所等）、地域包括支援センター、相談支援事業所等との連携強化を図る。
- オ 利用者の実態に応じ医療機関との連携推進を図る。

【公益事業】

①サービス付き高齢者向け住宅花木椋事業

| | | | |
|----------|-------|----------|--------|
| ア 目標利用者数 | | 平成31年度当初 | 成31年度末 |
| | 利用世帯数 | 28世帯 | 32世帯 |

- イ 地域への事業理解の促進を図りと利用者確保する。
- ウ 多様な利用者ニーズに応えられるよう提供するサービスを検討する。
- エ 介護老人保健施設いなほと連携した在宅復帰先として受け入れ体制の充実を図る。

②ケアプランセンターほなみ（居宅介護支援事業）

- ア 目標利用者数

| | |
|--------|------|
| 1ヶ月あたり | 100件 |
|--------|------|
- イ 介護支援専門員 3名体制を維持する。
- ウ 地域からの利用ニーズの増加に応え、介護支援専門員3名体制を維持し、「特定事業所加算」を算定可能な事業所体制とすることで、経営基盤の安定を図る。
さらには、特定事業所としてのサービス提供に応えられるよう各介護支援専門員スキルアップ向上を目指す。

エ 複合型施設に設置場所を変更した効果として、各事業との連携を積極的に図る。

(3) 養護老人ホームひのきの改築整備の促進と新規取組事業の準備

平成30年10月に江差町からの移管を受けた養護老人ホームひのきの運営の充実を図るとともに、改築整備に向け江差町、檜山振興局等の各行政機関と連携し、時宜に応じて次の事務事業に取り組む。

①養護老人ホームひのきの運営

- ア 町立施設からの円滑な事業の継承を進める。事業の実施状況を検証し、民間施設としての長所をより発揮することができるよう取り組みを進める。
- イ 近隣福祉事務所、檜山振興局管内町役場等と連携し利用者の確保を図る。
- ウ 老朽化によって施設設備の基準を下回ることをのこさないよう留意した運営に努める。特に、防災・防犯には細心の注意を行う。

②改築整備事業等の推進

- ア 江差町をはじめ各関係機関、団体等と適時調整を行う。
- イ 円滑に改築事業を推進・管理する体制の確立と各業者等と調整を行う。
- ウ 各業者との適切な入札の実施と透明性の確保を図る。
- エ 効果的な新採用職員の求人・採用試験を実施する。
- オ 新採用職員等の研修を開催し、経験の少ない職員等の資質向上を図る。
- カ 新規事業のサービス・プログラムの構築を図るとともに、サービス提供のための体制を整備する。
- キ 各補助金、貸付金申請及び実績報告書等作成、提出する。
- ク 事業指定申請書、各種許可申請書、届出書の作成、提出する。

(4) 各拠点区分事業の連携促進によるサービス提供体制の強化

各拠点区分事業の特徴を最大限に生かしそれぞれの運営の充実を図りながら同一法人として連携の強化に努め、相乗効果によるサービスの質の向上が図られるよう体制を強化する。

- ア 職員相互の事業理解のための研修、自主学習を支援する。
- イ 合同職員研修会の実施、研修情報の相互連絡・参加を推進する。
- ウ 法人の一体化を促進するための行事等を合同化するなどの工夫を行う。

(5) 人材確保対策の検討及び推進

「良質な福祉サービス」の提供と「利用者の満足」及び「職員幸福」を達成するために必要となるマンパワーの確保に向け、次の事項への取り組みを進める。

- ア 各種学校等への求人訪問を行う。
- イ 東北圏などへの求人訪問及び広報活動に取り組む。
- ウ リハビリテーション課等における実習生受入体制の準備と受入に取り組む。
- エ 介護職員初任者研修事業の広報活動推進及び実施する。
- オ 法人ホームページ活用、工夫による求人を行う。
- カ 新規事業開設等へ向けた広報活動の強化する。

(6) 法人経営組織のガバナンスの強化

平成30年10月から江差町においての事業を展開したことから、広域法人となり所轄庁が「北斗市長」から「北海道知事」（担当窓口、北海道保健福祉部施設運営指導課）に変更されたことにより法人ガバナンスの強化が必要となる。

法人のガバナンスの強化による法人としての社会的責任を果たし、各拠点業務の統一性を保持した効率的、効果的な運営体制の確立、充実に図る。

①事業継続マネジメントシステムの検討

災害、事故などの発生時に最低限の事業を継続することは法人の社会的責任の観点から重要であり、経営資源（人的、物的の双方）の制約の中で素早く事業の再開、復旧を進めるための検討、準備を行う。

②リスクマネジメントの強化

リスクの顕在化の未然防止を図り、顕在化した場合は早期発見して最小化させるリスク管理活動（ERM）を強化する。

③内部統制の構築、強化

組織が大きくなり事業展開地域も広域化することから、不正、コンプライアンス違反の把握、報告が迅速に理事長（法人本部）において行われるよう健全で効率的な管理機能の構築、強化を図る。